

褒賞

Junior Chamber International Amagasaki Award 2016

2016年度



●最優秀出向者賞
松田 鎮功君



●褒賞委員会特別賞
徳宮 奉篤君



●最優秀新人賞
坂田 大将君



●最優秀事業賞
青少年委員会



●理事長特別賞
会員拡大特別会議



●最優秀JAYCEE
西原 優子君



●功労賞
井田 佳宏君



●最優秀委員会賞
例会委員会

JC NEWS

最終号 Final

Junior Chamber International Amagasaki / JC NEWS 2016 Final Issue 平成二十八年最終号



編集後記



2016年度、JCニュース最終号の発行にあたり、年末の大変お忙しいなか原稿の執筆にご協力をいただいたメンバーの皆様に感謝申し上げます。本年度は泉原理事長の掲げる「一空～MAKE A DEEP IMPACT～」のスローガンのもと3回の公開例会や産官学と連携した尼崎オープンファクトリー等様々な事業が行われました。それらの事業を掲載するため一年の事業の記録をまとめた動画QRコードを掲載しておりますのでぜひともご覧下さい。一年間を通じて広報委員会の活動にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。
【広報委員会委員長 石川真次】

発行 一般社団法人 尼崎青年会議所
発行人 理事長 泉原 久人
編集 広報委員会
編集人 委員長 石川 真次

お問い合わせ
〒660-0881

尼崎市昭和通3丁目96番地 尼崎商工会議所ビル5F

TEL:06-6413-0136 / FAX:06-6413-0720 / e-mail:member@amagasakijc.org

尼崎青年会議所 検索



2016年 一空の軌跡ここにあり

尼崎青年会議所 検索



YouTube動画

空の巻

～ 万里一空 ～

理事長挨拶



前例にとらわれない果敢なチャレンジの成果

本年はスローガン「一空～MAKE A DEEP IMPACT」掲げ、活動して参りました。【地の巻】働きかけることを基本とし、【水の巻】ひとつづくり、【火の巻】まちづくり、そして【風の巻】つながりづくりを行って行くことで、【空の巻】「万里一空」の境地を目指しました。一年間を通して、素晴らしい委員長たちのお陰で、深いインパクトを残すことをコンセプトに様々な事業をバランスよく行うことができました。そのことが各メンバーの資質向上に繋がり、結果として組織を活性化することができました。また、前例にとらわれず事業や例会などに果敢にチャレンジし、産官学の有機的な連携を掲げ、当LOM広報誌JCニュースでは市長と対談、3度の公開例会、JCカップU-11少年少女サッカー大会尼崎大会、賛助会員の募集、尼崎オープンファクトリーなど多数の新しい事業を行って参りました。また、翌年2017年度には公益社団法人日本青年会議所近畿地区協議会の最大の運動発信の場である近畿地区大会尼崎大会を控えていることもあり、非常に重要な一年と捉え、会員拡大にも注力して参りました。数年前から積み重ねてきた会員拡大の手法に加え、メンバー全員で取り組む2016年度会員拡大システムを構築した結果、47名の新入会員を迎えることができました。それらの新入会員と一緒に研修事業としてドラゴンボートを行ったことは本当に素晴らしい思い出となっております。一年間努力を重ねていただいたメンバーに感謝の気持ちで一杯です。

一方で、我々が活動するまち尼崎市は本年市政100周年を迎えました。まちを上げ、100年を振り返り、様々な先人たちの価値ある財産を継承するとともに、新たな時代を作り出す貴重な節目の年でもありました。しかしながら青年会議所は過去を美化する団体ではありません。未来のために今を語る団体です。先輩諸兄が連綿とつないでこられたこの歴史と伝統を、本年もしっかりと次年度へ引き継ぎ、次代の糧となるよう2016年度を締めくりたいと考えます。

結びに、ご支援ご協力いただきました皆さまの益々のご繁栄をお祈りするとともに、引き続き一般社団法人尼崎青年会議所へのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げ、挨拶とかえさせていただきます。

第57代理事長
泉原 久人



世界の全ては同じ一つの空の下にある

執行部挨拶

Executive Greetings 2016



直前理事長・監事／富永 和慶

尼崎青年会議所シニアクラブの先輩の皆様、関係諸団体の皆様、そして(一社)尼崎青年会議所の仲間たち、本年度も大変お世話になりました。おかげさまで、大変充実した青年会議所のラストイヤーを送ることができました。直前理事長兼監事の立場で一年間活動できたこと、入会から9年間最後まで活動できたこと、今まで出会い、一緒に苦楽を味わってきた仲間たちに厚く感謝御礼申し上げます。今後、益々のご活躍をご祈念致します。



監事／井田 佳宏

まちづくりの第一歩は地域を愛すること。卒業年度に志をもって運動発信ができました。2回目の監事で、各委員会の事業がより良いものになるように、一層厳しい目線でチェックすることができました。



副理事長／齊藤 裕久

今年度、青年委員会、まちづくり委員会を副理事長として担当させて頂きました。2008年の入会以来、両委員会とも私にとって初めてのテーマでした。両委員会は、4月度、5月度例会、青少年キャンプ、オープンファクトリーといった事業を主に実施して参りましたが、常に考え、行動してくれた両委員会のスタッフ・メンバーのお陰で、常に新しい事に挑戦し、考える経験を多くさせて頂きました。1年間本当に有難うございました。



副理事長／内堀 宏星

この1年間、様々な経験をさせて頂き、ご支援していただきましたすべての皆様に感謝と御礼を申し上げます。この経験から得られた学びと気づきを知恵として今後の人生に活かし、勇気をもって一歩踏み出し、情熱をもってまちのため、ひのためになれるよう、邁進する所存でございます。2017年度も皆様のご多幸ご健勝を心よりお祈り申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



副理事長／本田 智

地区大会準備委員会は、次年度の近畿地区大会尼崎大会を大成功するために尼崎の歴史を調査研究し素晴らしい映像を作成して、本年度の近畿地区大会茨木大会で近畿中に尼崎の魅力を発信しました。近畿地区役員の中でも評判が良く尼崎大会に対する期待を高めることが出来たと思います。会員拡大特別会議は本年度47名の入会者を迎えることが出来ました。小畑副議長を筆頭にスタッフが常に走り回って本当に頑張った結果であると思います。その頑張りがシニアクラブの先輩方に伝わって沢山のご協力をさせて頂いたのではないかと思います。



専務理事／池田 伸吾

あつという間に過ぎた2016年。関係各位をはじめ諸先輩方仲間であるJCメンバーに支えられたおかげで今の自分があると深く感謝しております。一空という泉原理事長のスローガンの想いを大きな形にしてくれた委員長の皆さん。その委員長を上手に導いてくれた常任理事の皆さん。私の足りない部分を補い立ててくれた執行部の皆さん。そして尼崎青年会議所の活動を支えてくれたメンバーの皆さん本当にありがとうございました。



総務室 常任理事／大原 隼人

常任理事として、執行部の末席に身を置かせていただけたことで、多くの学びや気付きを得ることが出来ました。この場をお借りして感謝申し上げます。コミュニケーションの基本は、人に想いが伝わらなければ意味がありません。一朝一夕では身につかない技術ですので、メンバーの前でお話しをさせていただく機会を多く得られたことは、良い修練になったと思います。一年間ありがとうございました。これからも精進を続けたいと思います。



一空特別室 常任特別議長／成ヶ澤 紀彦

本年度は会議体や委員会の運営を常任特別議長という立場から、参加させて頂く機会を授かりました。行き過ぎた指導や、不干渉を決め込んで放任主義にならないように、心掛けて委員長、副議長やスタッフに接させて頂きました。そのお陰で一年という長いようで短い期間ですが、彼等の頑張りを間近で見させて頂くことができ、一緒に携わらせて頂いた事業はすべからず宝物のように思えてなりません。成長の機会を授けてくださり、本当にありがとうございました。

●委員長/上田 竜也
2016年度会員名簿作成および会員情報の管理

毎年、会員名簿(以下、手帳)はその年の総務委員会が独自の工夫を追加して作成する。本年度は、まず、理事長の会員拡大への熱い想いに応えて、参考になれば過去10年間の会員数の動向を掲載した。さらに、尼崎市市制100周年にちなみ尼崎市の歴史を掲載し、また、メンバーからリクエストの多かったブロック以上で会頭、会長をご経験された先輩諸兄も一覧を作成した。そして、本年度独自の工夫として最も力を入れたのが、「尼崎青年会議所のあゆみ」である。手帳は尼崎青年会議所の伝統と歴史そのものであり、その伝統と歴史をリスペクトした結果、たどり着いたのが尼崎青年会議所の歴史であった。我々現役は自分達が関わった事業は知っていても過去に行われた素晴らしい事業を知らないことが多く、現在と過去を繋ぎ絆をより強固にするためにも知る必要があると考えた。自画自賛にはなるが、この「尼崎青年会議所のあゆみ」は素晴らしいと思う。是非、次年度以降もその歩みを一歩ずつ積み重ねて行って欲しい。



●副委員長/小野 敏国
本年は総務委員会だけでなく、非常に事業の多い一年でした。副委員長として至らぬ点も多々あったと思いますが、優秀な委員会メンバーに恵まれ、皆様の支えがあった中で無事総務委員会副委員長をさせていただきました。一年間本当にありがとうございました。



●幹事/西原 優子
近畿地区大会茨木大会の参加窓口。来年の近畿地区大会尼崎大会に繋ぐ大切な役割として総務委員会一丸となって設営しました。どうすれば尼崎のPRになるかを考えることで尼崎の魅力を改めて感じることができ、当日はメンバーがその趣旨を理解し率先して行動してくれたことでLOMの一体感が生まれた事業のひとつでした。特にブース出展では新入会員を中心にお手伝いいただき、「あま〜いも」をたくさんの方に食べてもらうことで尼崎をPRに成功することができました。事業に参加することは大変なこともありますが、事業を通してメンバー同士の絆も深まり、周りの方々から影響を受けることで自分自身も成長できるのでこれからも積極的に事業に参加していきたいと思っております。



●委員/大浦 真嗣
理事会設営
理事会の設営メンバーとして1年間携わらせて頂きました。委員会メンバーで決めた各種事業の審議可決を得るために、委員会メンバーの前では格好良い委員長たちが理事会でもがき苦しんでいる姿や、困っている委員長に助け舟を出す優しさを垣間見ることができました。また理事会の議事録作成の苦勞も身をもって体験することができました。理事会は毎月第2木曜日に開催されています。メンバーは誰でも理事会にオブザーブ参加したり、事務局に保管されている理事会議事録を見ることが出来ます。ぜひ理事会に参加して、真剣な空気に触れてみてください。



●副議長/小畑 充生
2016年度会員拡大特別会議副議長予定者から今日までの、日々の拡大運動で感じたことを下記にてご報告いたします。

私達は尼崎青年会議所と出会い、共に歩んで来ました。そこで出会った仲間たちと人生の中で40歳の卒業までの限られた貴重な時間を、共に学び、成長させてもらったことは素晴らしい体験だと思います。この素晴らしい出会いと体験をもっと多くの人と分かち合いたい、尼崎青年会議所は明るい豊かな社会を実現するまで存在し続けなければならない団体です。会員拡大とは継続しなければならない重要な運動であり、終わりはありません。地域のために今後も会員拡大を継続して、地域を引っ張る未来のリーダーを育成し続けて下さる様に願います。今年度会員拡大にご協力して頂いたメンバー全員に感謝申し上げます。次年度以降もさらなる尼崎青年会議所の発展を心より願っております。



●幹事 永住昌之
新入会員研修事業
今年度、多くの新入会員が加入しましたが、この事業を通して絆が深まり、一致団結する姿を見ることができました。設営に快く協力してくれました出向メンバーや研修事業にも関わらず、ご参加頂きました多くのメンバーの皆様へ御礼申し上げます。有難うございました。そして、次代を担う虹色会、頑張ってくださいね!!!



●副委員長 大谷俊彦
会員拡大特別会議では、年間で4回の異業種交流会を設営させていただきました。なかでも3月と5月に開催した異業種交流会では、シニアの先輩方に、JCでの活動と卒業後のご自身の活動をテーマに講演していただきました。現在各界で活躍されている先輩方にJCの魅力をお話していただくことで、自分自身もJCの魅力を再確認することができました。また、その設営には、現役メンバーだけでなく、たくさんの先輩方にも惜しみない協力をいただき、尼崎JCの結束を感じることができました。





●委員長/石川 真次 JCカップ尼崎大会の開催

選手や保護者の方が経験したことのないサッカー大会を開催することをテーマに広報委員会メンバーと共に事業を構築してまいりました。大会後のチーム指導者、選手、保護者の方々のアンケートのご意見を見ますと、百合学院のチアダンス部の生徒と選手の交流やセルジオ越後氏のサッカークリニックを大会で行うことで、1つのサッカー大会で多くの人々の交流が生まれ、地域を活性化させることができる可能性があることを実感していただけたと感じました。また本事業を通じて尼崎青年会議所の存在を知り、興味を持ったと80パーセント以上の方にお答えいただいております。私たちの活動の一端を知っていただくきっかけとなったと思います。

JCカップ尼崎大会が尼崎で活躍する企業やNPO団体、行政機関、学校などの専門機関とともに地域を活性化させる事業へと尼崎に根付いて欲しいと思います。最後になりますが、初めての事業にもかかわらず、素晴らしい運営をしてくれた委員会メンバー、そしてご協力いただいたメンバーの皆様から御礼を申し上げます。



●幹事/西 政治
広報委員会としての初めての事業であり、今までにない広報誌を作成しようとメンバー一同で考え、尼崎市長との対談が実現しました。自画自賛ではありますが、今までのJCニュースと違った広報誌を発行できたと思いますし、青年会議所の可能性を感じることができました。

そして、最初の事業で委員会メンバーの結束ができたと思います。



●副委員長/後藤 康仁
今年一年を振り返り、何より心に残ったのはJCカップU11何より各個人の役割が多すぎて、新入会員のメンバーもかなり協力してくれた事でメンバーの結束も、より強固なものになったのも肯げます。事業を実施する毎に各々の成長が感じられる1年でした。



●委員/谷口 正
一番の印象に残った事業はJCカップでした。地域の方々と一緒に事業を作り上げて実施する。結果として地域貢献にも繋がるといふJCという団体を理解するのに非常に分かりやすい事業だったと思います。



●委員長/吉田 史 尼崎JCプロトコルの作成及び周知徹底

尼崎青年会議所には、先輩諸兄が守ってきた様々な「決まり事」があります。しかし、近年、在籍年数の短いメンバーが増加傾向にある現状では、この「決まり事」や、なぜそうしなければならないのかという背景を理解する時間が限られており、「決まり事」の体得や伝承が難しい時代になってきています。JCがJCであり続け、JC歴の長短にかかわらずすべての会員が「決まり事」を当たり前に行える文化を支えたい……。こうした思いから作成したのが「尼崎JCプロトコル」です。作成にあたっては諸先輩方からもご意見をいただき、正確かつ過不足ない内容に仕上がったのではないかと自負しております。

しかしながら、本来は「決まり事」は自然に伝承されるべきものであり、このようなマニュアル本の活用は、在籍年数の短い会員が多数を占める現状における言わば「苦肉の策」。本当に大切なのは「生の声」をもって伝えること。今後のメンバーのさらなる成長を期待します。



●副委員長/大谷 勸介
伊井諾神宮の本名孝至宮司を講師としてお招きし、古くから引き継がれてきた精神性「心」についてご講演をいただきました。引き継がれる尼崎青年会議所の「心」について深く考える機会となりました。本名宮司はJC関係者とも交流が多く、先輩方や他LOMからも多数の方々にお越し頂き、JCの繋がりの広さを知るとともに、その後の運動を展開するにあたり、欠かせない例会だったと今あらためて実感します。



●幹事/池田 政之
7月度公開例会 目標達成のための意識変革術
例会委員会では2回目の公開例会をさせていただきました。さらに多くの市民に参加していただくため、WEBでの申し込み方法やポスター、チラシを公共施設だけでなく、個人店にも配布し、多くの市民の皆様に来ていただけました。また荒木講師の講演を聞いてもらい、時代や環境に応じて意識変革することの必要性を学んでいただく例会となり、多くの市民の皆様にはJC活動を知っていただく機会となりました。



●委員/山村 智和
今年度印象に残っていることは二点あります。一つは、7月例会で今とときめく、前ラグビー日本代表メンタルコーチの荒木先生の講演が実現したこと。公開例会として多くの一般市民の方々に参加いただけたことは、JCの活動を周知できる絶好の機会だったと思います。もう一つはJCプロトコルの策定により、JCの決まりごとを明確化し周知できたことです。私自身、入会時からモヤモヤしていたことが解決でき、例会委員会として模範となる例会運営やJC活動に関わることができたのはとても印象に残っています。



●委員長/大城 秀夫 青少年キャンプin淡路島

将来に明るい希望を持ってない若者が増えている。その背景には、大人達を尊敬出来ないといった傾向が指摘されています。子供達自身、夢を語る為には、豊かな経験を積む事が必要であり、我々が提供する必要があると考え事業構築を致しました。仲間との力を合わせ様々な課題、修練をオリエンテーリングを通じて、課題への達成感を伝えました。また、魚の捌取りや、キャンプファイヤー、肝試し、ドッジビー大会、さらには、海でイルカと共に泳ぐ体感学習を行い、最後に若人の塔へ行き、学徒慰霊と過去の歴史を学びました。こども達が自力で奮闘する姿、また、メンバーの規律正しい行動と共に夢中になって走り回る姿は、とても輝いていました。今回の事業構築に辿り、様々なアドバイスを頂きました。先輩諸兄の皆様方と設営のサポートを率先して協力頂きました。メンバーの皆様方、本当にありがとうございます。我々の街、尼崎の未来は、これから明るく輝き続けて行くでしょう。感謝。



●委員長/秋野 数馬

家族と依頼者を裏切り続けた1年4か月間の委員長生活が、ようやく終わりを迎えました。委員長の職責は想像を絶するほど重かったです。さて、私たちまちづくり委員会では主要な職務として5月度公開例会と尼崎オープンファクトリーを担当しました。5月度公開例会では、藻谷浩介氏を講師として迎え、人口動態から分析した尼崎の将来について語っていただきました。パッケージの講演ではなく、尼崎の実態に即した講演という、これまででありそうであった例会を実施できたと考えています。尼崎オープンファクトリーでは、尼崎市内の企業16社にご協力いただき、市民を対象として工場見学を核とする事業を実施しました。協力企業の中には、突然の電話での依頼にもかかわらず、ご快諾いただいたところもあり、私たち以上のまちづくりにかける思いを実感しました。まちづくり委員長を拝命するまで、まちづくりなど考えたこともありませんでしたが、大阪から転入してきた「よそ者」である私にとって、尼崎のまちを知る良い機会になりました。今後も微力ながら尼崎を応援していきたいと思っております。



●【副委員長】西村 太志 わんぱく相撲

わんぱく相撲尼崎大会、兵庫ブロック大会、全国大会の3大会に携わり、小学生を引率してきました。全国大会は毎年、東京の両国国技館で行われ、東京には1泊2日で選手の引率をします。一緒に同行して頂きました尼崎JCメンバーや、兵庫の他JCMメンバーとの交流が出来、いい経験と思いに残る事業となりました。



●幹事/大江 俊輔 4月度家族例会

女優の杉本彩さんを講師にお招きし、道徳心を育むことを目的に行われました。子供達ひとりひとりに優しく語りかける姿が非常に印象的でした。プームで活況を帯びたペット業界の裏側にある、深い闇・残酷な現実を赤裸々にお話し頂き、命の尊さについて、家族も交えて一緒に考える貴重な機会となりました。こういった活動こそがこの団体の本質的なのではと思われされる有意義な機会となりました。



●委員/坂田 大将 11月度スピーチ例会

卒業生の気持ちの込められたメッセージが現役メンバーに確かに届き、その熱い思いが現役メンバーの中で燃え続け、いずれは新しく仲間となるメンバーに受け継がれてゆく、そのようなきっかけを作ることができました。入会してから1年余りの卒業生から10年以上活動された卒業生まで、あるいは一委員から理事長経験者まで、様々な卒業生が様々な輝きを放つ、とても素晴らしい例会になったと思います。



●副委員長/福島 裕規 尼崎オープンファクトリー

100社以上の会社に協力依頼の電話と、参画いただくことになった企業16社への挨拶並びに概要説明の訪問を、委員会メンバーで分担しました。事業当日は参加者と一緒に工場を回っていただくなど、他の委員会メンバーに多大なる協力をいただきました。



スタッフだけでは到底成功できなかった事業であり、改めて尼崎JCメンバーを頼もしく思い、誇らしく感じさせていただいたオープンファクトリーでした。



●幹事/益田 弘和 LOMナイト

まちづくり委員会としての初めての事業であり、JCでの初めての司会担当事業でした。会場の下見や司会台本作成等色々な経験をさせて頂き、多くを学ぶ事が出来ました。一年間有難うございました。



●委員/越賀 道秀

何の脈絡もなく、仕事も価値観も違う、10名が集まって、地域のために事業を展開していく。当然だが、報酬も何もない。得られるのは、達成感や連帯感くらいのものである。だが、これは決してお金で買えるものではない。自ら進んで行動することにより生まれてくるものである。事業の提案では、様々な意見が出された。それぞれの立場や価値観が違えば、正に多種多様である。オープンファクトリーと決まれば、そこに目標意識が生まれ、多種多様な考えがより大きな力を生み出す。こいつ、こんなことができるんだ、こんな考え方があるのかと...この経験は一生の宝物である。



●委員長/倉藤 秀幸
各種対外事業の参加窓口業務

青年会議所が世界と繋がる組織であることを肌で感じることができる一つに対外事業があります。京都会議から始まりサマーコンファレンスを経て全国大会広島大会で締めくくった日本青年会議所主催の各種大会はどれもスケールが大きくそれに参加することで視野を広げることができ、またそこで開かれるフォーラム・セミナーはメンバーの資質向上の絶好の機会となりました。ASPAC高雄大会では台南JCとの異文化交流を図り姉妹JCとの関係をより深めることができました。尼崎の地を離れて各地でメンバー同士がかけがえのない時間を共有することで絆を深めることができ組織は活性化されたと感じています。



●委員長/小池 博之
1月度新春例会

泉原理事長の掲げる一空～MAKE A DEEP IMPACT～の門出を飾る重要な事業を委員会発足間もない短期間で構築できたのは、副委員長、幹事、そして委員会メンバーのご助力があったことでした。委員長方針説明(CED)での各委員長の勇姿は今も鮮明に残っております。委員長達が真剣に向き合った方針の門出もしっかりメンバーに伝播したのかなと今になって感じております。各委員会での事業構築で多忙な中、協力して下さった各委員長、そして、見守って下さった執行部の皆様のおかげで、対外的にも「STYLISH」な尼崎青年会議所を披露することができたと感じております。未来永劫、この尼崎青年会議所が、地域に愛され、地域と共に発展し続ける魅力溢れる組織であることを願っております。1年間お世話になった皆様、本当にありがとうございました。



●副委員長/渡邊 一馬



新年度初の事業であり、今年の方針を対外へ示す最大の機会である新春例会の設営を担当させて頂き、事業構築のやり甲斐と大変さを学ぶ良い機会となりました。来賓の方々を始めとし、対外の方々を招いての事業は、尼崎青年会議所の存在意義を指し示す貴重な機会であり、どのように魅せるかというテーマを明確に定めて取り組む必要があります。今年度は皆様のご協力により、小池委員長の掲げるテーマ「STYLISH」をテーマとして、新春例会本来の意義を果たすことが出来ました。



●副委員長/朝山 直樹
全国大会広島大会

渉外委員会最後の事業であり、議案書作成から携わらせていただき、思い入れが深い事業でしたが、当日、自分自身への反省点が多く、幹事や委員会メンバーに迷惑をかけ、助けていただいたことに感謝する事業でした。そして、卒業生が思い出に残る事業とするために、多くのメンバーが参加していただけたことは大変嬉しく感じる事業が構築できたと思います。反省点を活かし今後のJC活動に取り組んで参りたいと思います。



●幹事/大仁田 伸吾

全国そして、世界を股にかける渉外委員会。一年間幹事として、メンバー収集に徹しました。思い出として、アスパックIN高雄。目的は理解していても、情報や資料がほとんど存在しない為、事前に現地に行き、情報収集を行い、イメージする難しさを実感しました。当日メンバーがたくさん来てくれて、嬉しく、そして、快楽を味わっていただき本当に感動する事業でした。もう一つ、嬉しかったのは、全国大会広島大会。幹事としてメンバー収集の結果、メンバー47%、卒業生90%の参加率。とてもとても興奮しました。



●委員/中島 将博

最終年度全国大会開催地の広島で数多くのメンバーと参加出来又多くのメンバーに卒業生として暖かく見送って頂いた事が大変嬉しく感謝しております担当委員会として現地調査を行い紆余曲折色々難題が有りましたが委員会メンバー一丸となり無事に事業を執り行えた事無事に帰阪出来た事が私自身大きな体験と経験になりました。改めて感謝お礼申し上げます



●幹事/松田 賢三
2016年度新春例会

今年一年を振り返り、一番の印象に残った事業は新春例会でした。2016年度初めての例会でもあり私自身初めての幹事として行う例会で少し緊張もありましたが、無事大きなミスもなく行う事が出来、委員会メンバーの結束が深まったと思います。最後になりますが、初めての事業にもかかわらず、設営に協力して頂いた委員会メンバー、そして動員に協力して頂いた各幹事の皆様、参加して頂いたシニアクラブの皆様、現役メンバーの皆様にご心から御礼を申し上げます。



●委員/野村 洋平
新春例会

一番印象に残っている事業は新春例会です。2016年、LOMとして初めての事業であり、プレッシャーもありましたが、委員長の確固たるコンセプトに合致する内容になっており、尼崎市長や諸先輩方に対して、各委員長が光り輝く姿を見ることができたと思います!



新入会員

虹色会



八尾 百穂

JCに入らなければ出会えなかった方々や同期メンバー全てに感謝です。



山田 豊和

様々な事がありましたけど、普段経験出来ない事が出来て楽しかったです。



白石 信昭

理事長杯を経験し仲間達との絆が深まり、達成感を実感できました。



高木 淳

今年の活動を振り返ると、事業を通して新たな知見や人との繋がり等を得ることができました。



正木 雄樹

JCライフで、苦手ななどを克服していきたくて。



三井 貴之

仲間の大切さ、ありがたさ、事業の熱さを教えていただき、自分自身の足りない部分を痛感させて頂きました。



村尾 祐介

日本に滞在する時間があまりありませんが、できる範囲で頑張ります。



八木 康次

会社の経営者や、弁護士、政治家と普段出会わないような方々と出会う事が出来ました。



天谷 洋志

「仮入会から、虹色会で仲良くしてもらい、ポートではみんなで合わせることを知りました。



石井 力

JC活動をしていくに連れて仲間との絆が深まっていくのを実感する事が出来ました。



北野 壽一



西村 夢麻

メンバーと出会えたこと支えてくれた事、感謝の気持ちでいっぱいの一年間になりました。



阪中 達彦

個性豊かなメンバー、同期の仲間と様々な刺激を受けました。感謝しています。



松岡 佳伸



三木 一造



吉田 鍾文



石川 雄志

スキルアップのため入会しました。頑張ります。



木村 虎彦

集まりが凄く多く大変だと思う反面、同期、先輩方と接する機会も多く、凄く為にもなると思いました。



齊藤 康道

とても充実した日々を過ごせています。これも先輩方や仲間達のおかげです。みんなに感謝。JCに感謝。



寺西 一郎

JCになにかわらない状態でしたが、忙しい中JCメンバーに楽しんで頂いて、やり甲斐を感じました。



尾河 康平

人脈を深めることができたと思います。



神原 大輔

口数の少なかった人たちが、どんどん積極的になって、JCを楽しむようになる。それがJCの魅力なんだろうと思います。



前田 敏洋

この一年様々な事業を経験させて頂きたくさんの刺激を受けることができました。



岩田 文香

入会してからあつという間の一年でした。皆さんと共に得た感動や経験は素晴らしい思い出になりました。



岡田 浩樹

あつという間に時間が過ぎて行きましたが、虹色の仲間や先輩方とすごす非常に濃い時間でした。



谷岡 俊英

虹色会のメンバーはとても素晴らしい、楽しいメンバーばかりで、この出会いを大切にしたいです。



馬場 正義

様々な人と出会う事ができ自己成長に繋がる組織だと感じております。



横山 大輔

僕自身、何か変えないといけないと考えてた時でしたので、凄くプラスになりました。



岡本 正志

入会の動機は人脈形成です。よろしくお願ひします。



寺田 貴彦

精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。



二正寺 淳也

「最初はどうかと思いましたけど、終われば絆の深まったと思います！」



植田 勇太

頑張ります。



里村 文崇

理事長杯を通して虹色会のメンバーとの絆も出来上がってきていると感じた事業となりよかったです。



岡本 光永

「己の成長のため！入会しました。まだまだ、始まったばかりですが、さらなる成長を求め精進したいです。」



花ヶ崎 光広

全国で素晴らしい地域貢献事業をJCが行なっていることが分かりました。



土手川 真



藤田 壮二

尼崎青年会議所に入会して人の輪を広げたいと思います。



渡邊 幹

JCに入らなければ、出会わなかった人々に出会えたことが1番の収穫です。



松本 優賀

入会直後でお手伝いも出来ず、当日だけ参加させていただきました。



光本 啓介

尼崎市議として尼崎の魅力アップと発展に寄与できるよ、頑張ります。

卒業生 紹介

Junior Chamber International Amagasaki Graduate 2016



●伊藤 マリア



●上田 竜也



●荻野 数馬



●小畑 充生



●川島 準一郎



●岸田 幸三



●倉藤 秀幸



●越賀 道秀



●小嶋 章公



●齊藤 裕久



●田中 大祐



●谷 一也



●寺坂 美一



●富永 和慶



●中島 将博



●永住 昌之



●池田 政之



●池田 和也



●石川 真次



●井田 佳宏



●西村 太志



●長谷川 亮太

卒業生の皆様お疲れ様でした。
Thank you for your graduates